自己評価 (前年度)

※「幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価」のチェック項目を用いて自 己評価しています

幼保連携型認定こども園教育・保育要領に基づく自己評価					
デ	データ表			データグラフ 350 400 450 500	
	内容	項目数	平均	ナーダクフノ 3.50 4.00 4.50 5.00	
_	「乳児保育」	15	4.53	「乳児保育」 4.53	
タ	「3歳未満児保育」	32	4.38	「3歳未満児保育」 4.38	
	「3歳以上児保育」	53	3.96	[3歳以上児保育] 3.96	
分	「教育保育の配慮事項」	16	4.38	「教育保育の配慮事項」 4.38	
	「健康・安全」	29	4.55	「健康・安全」 4.55	
析	「子育ての支援」	18	4.28	「子育ての支援」 4.28	
表	「職員の資質向上」 計	9 172	4.11 4.27	「職員の資質向上」 4.11	
総合評	事業計画の目標として、子どもたちとゴミ拾いが実現できたことで環境への意識が深まった。子どもたちも、主体的にゴミ拾いに行きたいと発信することも増え、環境問題へ				
価	の興味・関心へと深まってきた。今後は、併設している生活介護事業所と共にゴミ拾い を実施するなどの目標を立てながら、地域にお返しができるよう、環境にも意識した活				
	動を行っていきたい。				

事業計画 (今年度の重点目標)

項目	内容			
職員・職員の家族と	・定期的な個別面接や、会議等で職員に意見を求めるなど、意欲ある職			
の「信頼」の構築	場環境づくりの推進			
	・ケース会議などで自分の意見を発言するなど、自己発信の場を設けた			
	り、職員の個別面談を実施する(年2回)			
地域の学校との「信	・学校行事への参加や、園(施設)行事・自己評価事業への招待等、"			
頼」の構築	顔と顔の見える関係(世間話ができる関係)づくり"に努め、相互理			
	解を図る			
	・地域の学校行事に参加したり、園の行事に招待したりするなど交流を			
	深める (年3回以上)			
地域との「信認」の	・地域の環境問題に対する取り組みの実践			
構築	・園周辺のごみ拾いから地域の環境問題への意識を高め、継続して行っ			
	ていく(月に2回5歳児保育で実施)			